

令和6年度 年末年始における 県内のスキー場及び主な温泉地の観光客数の状況について

1 調査期間

令和6年12月28日（土）から令和7年1月5日（日）まで（9日間）

2 結果概要

(1) 県内スキー場地区別利用者数

	R6 年度			R5 年度
	入込客数	1 日平均	(R5 年度比)	1 日平均
片品地区	86,308 人	9,590 人	137.4%	6,980 人
吾妻地区	55,422 人	6,158 人	107.2%	5,747 人
水上地区	59,310 人	6,590 人	148.4%	4,442 人
その他地区(※)	41,705 人	4,634 人	130.8%	3,544 人
計	242,745 人	26,972 人	130.2%	20,712 人

※その他地区＝沼田市・川場村

(2) 県内主要温泉地宿泊者数

	R6 年度			R5 年度
	宿泊者数	1 日平均	(R5 年度比)	1 日平均
草津温泉	55,723 人	6,191 人	104.6%	5,920 人
水上温泉郷	46,121 人	5,125 人	100.7%	5,090 人
伊香保温泉	41,596 人	4,622 人	102.1%	4,527 人
四万温泉	10,913 人	1,213 人	88.3%	1,373 人
万座温泉	10,448 人	1,161 人	88.4%	1,314 人
老神温泉	6,312 人	701 人	94.9%	739 人
猿ヶ京温泉	4,874 人	542 人	86.3%	628 人
磯部温泉	3,215 人	357 人	81.0%	441 人
計	179,202 人	19,911 人	99.4%	20,031 人

3 概況

(1) 県内スキー場利用状況について（スキー場への聞き取りによる）

- ・今年度は降雪に恵まれ、予定どおりの時期にオープンをすることができたこともあり、多くのスキー場で利用者が増加した。

(2) 県内の主な温泉地の宿泊状況について（温泉地等への聞き取りによる）

- ・スキー場利用者は増加したものの、日帰り客も多く、主な温泉地の宿泊者数は、前年度比 99.4%と昨年度と同程度にとどまった。
- ・新型コロナウイルスやインフルエンザの流行により、各温泉地において、キャンセル等が増加したことも影響したと考えられる。

※本調査は、対象市町村、観光協会等が温泉地の宿泊者数及びスキー場利用者数を調査し、県及び県観光物産国際協会が集計したものです。